

寒さは未来の栄養素

校長 田極政一郎

9月の1年生セカンドスクール、2年生職場体験に始まり、武蔵野市陸上競技大会、合唱コンクール。11月のマラソン大会と大きな行事が続いた2学期が終了します。学校の切れ目の中では一番長い2学期。9月～11月と実りの秋といいますが、それにふさわしい収穫を得ることはできたでしょうか。

通知表をもらう終業式の頃にはもうすっかり寒くなり、君たちが一生懸命掃除をしてくれた木の葉が落ちるように、冬は生物の活動が鈍くなりがちです。しかし、一見じっとしているようでも本当に活動をしていない訳ではありません。

30年くらい前、菊を育てていました。本で調べてみると「菊」は冬の間に寒さに遭わないと、翌年花が咲かないということが書かれていました。その事を疑問に思ったので、昼間は太陽がよく当たり夜は暖房の効いた室内で肥料や水をあげて育ててみることにしました。冬の間、外に置いた菊の苗はほとんど生長しないのですが、暖かい室内で水やりもしながら育てた苗は順調に伸び大きくなっていきました。暖かい春になってからは、菊の開花期である秋まで両方とも同じように外で育てました。

秋になり室内で育てた菊はどうなったと思いますか？ 花は咲いたか、咲かなかったか？ 結論から言うと、室内で育てた菊にも花は咲きました。ただし、花の大きさは外で育てた菊の半分ほどしかなく、しかも形も崩れていました。

見た目は、室内でヌクヌク育った菊の方が立派に見えて大きな花を咲かせそうだったのですが、結果は違っていました。

寒い冬が来ます。その寒さは人によって種類や温度が違います。今が暖かければ良いものではありません。冬の寒さに、自分の嫌なこと・辛いことに打ち勝って未来の栄養素をたっぷり蓄える冬休みにしてください。